

シリーズ 大津町の宝

国指定重要文化財 「江藤家住宅」

“住んで守る” 江戸期の家



【次回公開日】
2月25日（木）を予定
※詳細は生涯学習課
（☎293-2146）まで
所在地：陣内

江藤家住宅は、大津町に散在する江戸時代の「在御家人」の住宅の中でも、最も大型、かつ建築年代の古いものの一つです。

住宅は、豪農民家としての面と、次第に成長してきた武家屋敷としての面を併せ持っています。内部には、幕末の優れた細川藩御用絵師や職人の手による贅を尽くした床飾りや障壁画があります。

住居は人が住まわなければ、急速に劣化しますが、その困難性から実際に人の住まう指定文化財は全国でも希少です。文化的価値が特に高い調度品の並ぶ客間は、劣化を防ぐため暖房器具が使えず、広い建屋や敷地の管理にも大変な作業が伴います。

現在は、これまでもボランティアとして住宅を支えてきた地域の方々を中心に「まもろう会」が立ちあがり、ご家族と一丸となって、この地域の宝を守っています。

表紙紹介

11日の成人の日に先立ち、大津町の成人式が10日、大津町文化ホールで行われた。式典には、新成人全381人のうち約260人が出席し、思い出話を花を咲かせるとともに、故郷振興に向けた思いを新たにしました。

編集後記

昨年、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法が改正され、夏の参議院選挙から導入されることになりました。選挙権年齢の引き下げは、70年ぶり。未来を担う若者の声を、政治に反映させていくことが期待されます。若者の政治参加への意識を高めるため、教育現場における主権者教育も必要になってきます。しかし、もっとも大切なのは、家庭で、政党や政治、政策について大いに語り合い、政治参加の意識を高めていくことではないかと思えます。

それが、親の世代の投票率アップにも繋がるのではないのでしょうか。

（豊瀬）

* 傍聴に来てはよい *

議会、および委員会は役場4階にて記名すれば、どなたでも自由に傍聴できます。

次回の議会の会期予定

3月7日（月）～22日（火）

議会広報編集特別委員会

委員長
手嶋 靖隆

副委員長
松田 純子

委員
桐原 則雄
豊瀬 和久
金田 英樹

発行責任者
議長：大塚龍一郎

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。